

千葉商科大学 プレスリリース

千葉商科大学ウェブメディア「MIRAI Times」で連載スタート!

エシカル“消費”を超えた新しい概念 社会経済システムの進化形「エシカル経済」を解説

千葉商科大学(学長：原科幸彦)は、「社会の未来を育てる」をコンセプトとしたウェブメディア「MIRAI Times」に、「エシカル経済～アフターコロナの世界を動かす新しい原理～」と題した連載記事の第1弾を公開しました。

人、社会、環境にやさしい商品やサービスを選ぶ「エシカル消費」が注目されています。この考え方をさらに進化させ、原料や素材に始まり、生産、流通、販売、消費へと至る経済の仕組み全体を「エシカル」に。限りある地球の資源を未来へつなぐため、あたかも植物や動物のように輪廻転生する新しい社会経済システムを創りたい。そんな発想のもと、今回から始まるこの連載では、パーソナルファイナンス、サステナブルファイナンス等が専門で、ESG投資にも精通している千葉商科大学人間社会学部の伊藤宏一教授が構想する「エシカル経済」について紐解きます。

【連載第1弾】「エシカル経済」とは？「循環」と「共有」から始まる社会経済システムの進化形

連載第1弾では、エシカル経済の最も重要なキーワードとなる「循環」と「共有」の社会現象から解説する。気候変動や資源枯渇などの深刻化が進み、これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄を前提とする社会経済システムではもはや成長は望めなくなった今、これに代わる持続可能な新しいシステムとして注目されているのが、「循環経済(サーキュラーエコノミー)」である。また、「循環経済」と並んで挙げるもう1つのキーワードが、十分に使われていないモノ、空間、知識・知恵、技能等の遊休資産をICTの活用によって共有する幅広いビジネス「共有経済(シェアリングエコノミー)」である。

これらの地球に過大な負荷をかけずに経済成長を追求する、新しいカタチの社会経済システム「エシカル経済」を提唱し、解説する。

※記事本文をぜひご覧ください。

https://www.cuc.ac.jp/om_miraitimes/special/u0h4tu0000002e0x.html

「MIRAI Times」では、SDGs推進に力を入れる本学が、持続可能な社会の未来を育てるために、知りたいこと、知っておいた方がいいことを分かりやすく伝えていきます。

「MIRAI Times」 https://www.cuc.ac.jp/om_miraitimes/

千葉商科大学 MIRAI Times

検索

【報道関係者の皆様へ】

「MIRAI Times」の記事テーマに関する教員や学生へのご取材についてはお気軽にお問い合わせください。

学校法人千葉学園 経営企画部 戦略広報室 [Tel] 047-373-9968 [E-mail] p-info@cuc.ac.jp

千葉商科大学では、建学の理念に基づく本学の事業活動において、SDGsへの取り組み方針を学内外に共有・公表することにより、社会的責任を果たす際の指針とすることを目的に「千葉商科大学SDGs行動憲章」を策定しています。

CUC 千葉商科大学
Chiba University of Commerce

www.cuc.ac.jp